

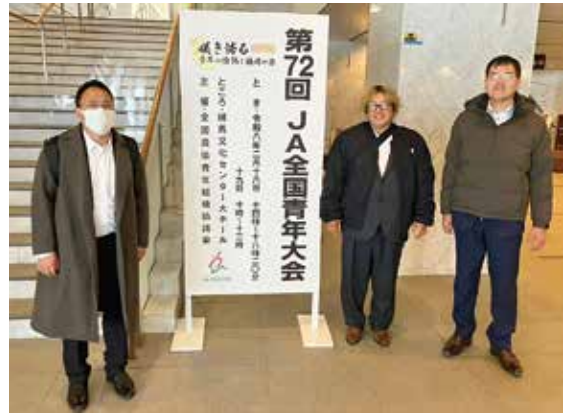
第72回JA全国青年大会に参加しました！

大会スローガン

咲き誇る 青年の情熱と協同の力 ～さあ、みんなでやってみよう！～

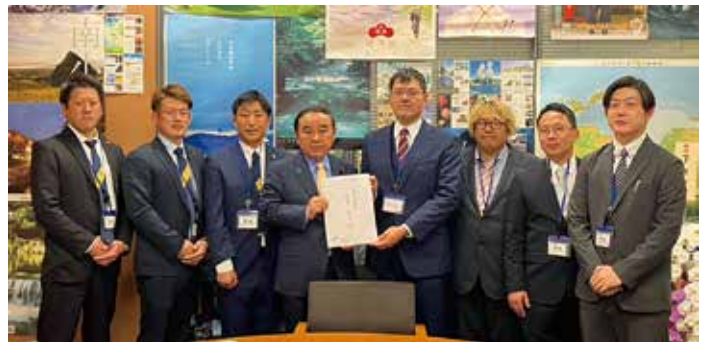
第72回JA全国青年大会が2月18日、東京都練馬区で開かれ歌丸部長、東副部長、松本副部長、宮下職員の4人が参加しました。全国の青年部員が一堂に会し、未来を案ずるのではなく、我々自らで切り開いていき、部員一丸となって取り組んでいくことを確認しました。

青年の主張では、「未来の種まき」として、困難な状況を嘆くだけでなく、一人ひとりの確かな行動の積み重ねが必要という主張が印象的でした。青年組織活動実績発表では、20年続く田んぼアートで「農産物価格の理解醸成」という直近の課題に結びつけた活動が紹介され、大変参考になる取り組みを学ぶことができました。



坂本哲志議員に陳情書

19日には、農業経営での課題を解決するべく、坂本哲志衆議院議員を訪ね「陳情書」を手渡しました。生産費の高騰や担い手への対策、農地の確保などさまざまな課題への青年農業者の声を届けました。歌丸部長は「今後も地域の農業者の声を国政へしっかり届けていきたい」と話しました。



JA阿蘇青壮年部と合同で訪問しました

研修報告 令和7年度 JA九青協経営対策研修会

九州青壮年部協議会経営対策研修会が2月4日、大分県大分市で開かれ、九州・沖縄各県から約200人が参加。JA菊池から菊陽支部の大地支部長と宮下職員が参加しました。

1. 「大分の食と農の魅力を発信」

ピースカンパニーの大田一郎さんと大分放送の甲斐蓉子アナウンサーが、パーソナリティを務めるラジオ番組を通して感じた食や農業への思いなど講演。これまで番組に出演された生産者の話を語られました。



大地 菊陽支部長

2. 「九州から農業を盛り上げよう!!」

事例報告では、水稲、園芸、畜産を営む3名の生産者から自身の経営での工夫などを学びました。「すべて逆算して考える」という姿勢から、年間の給与支払額を出し、そのために必要な経営面積や作業の効率化で収支が成り立つかを事前に計算し、数字的根拠を持って雇用を進めているという話が大変印象的でした。トークセッションでは、講師と事例報告者に加え、九青協の浦委員長と久保副委員長も登壇されました。